



助産師活動の発展のために ～ 今できることを ～

2025年問題に向けて日本の保健医療政策は大きく変容しようとしており、その動きは地域母子保健にも影響を及ぼすと考えられます。近年、地域母子保健領域においても国の施策である妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない総合的な支援として妊娠・出産包括支援事業の拡充・強化が図られています。その一方で、事業の拡大に伴い、企業の参入などによる非専門職によるケアが行われる機会が増えており助産師の職域が縮小していると言えます。

こうして大きく変容しようとしている日本の保健医療システムの中で、私達助産師の存在や助産師のケアは、社会からどのように評価されているのか、助産師のケアが母子やその家族にとって身近な存在であり続けるために必要なことは何なのかを早急に具体化していくことが求められています。

そこで、三部会合同研修会においては助産師活動の発展へ向けて何をすべきか、さらに将来の助産師活動のビジョンについて検討していきましょう。皆様、奮ってご参加ください！

日時 平成28年10月22日(土) 13:30～16:40(受付 13:10～)

場所 武蔵浦和コミュニティセンター

(武蔵浦和駅西口徒歩3分 サウスピア8階 第7・8集会室)

内容

- 13:30～15:00 北田 ひろ代 埼玉県助産師会副会長
助産師の歴史を振り返り、今求められる助産師活動のあり方について
—「埼玉県会員活動調査票」による助産師の可視化と
必要な社会的連携について考察する—
- 15:10～15:40 三部会長 保健指導部会長 飯島さちこ
助産所部会長 瀧田 洋子
勤務助産師部会長 平野 恵子
会員へのインタビューからみえた各部会の特徴とそこから考えられること
—部会を超えて地域でどのように助産師の役割を活かせるか—
- 15:40～16:40 グループワーク

参加対象及び費用 会員のみ 500円 (一般ポイント 1)

定員 60名

申込み Gメールまたは往復はがきにてお申し込みください

(1) Gメール宛先: mw.kensyuukai@gmail.com

ドメインの拒否設定をしている方は解除をお願いいたします

(2) 往復はがき:

送付先: 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 2-9-18

埼玉県助産師会事務所 三部会合同研修会担当 宛

返信用はがきの宛名に、住所・氏名の記入をお願いいたします

(1)(2)の方法のいずれも件名に「三部会合同研修会」、

本文に①氏名②連絡先③所属部会④地区名をご記入ください。

お問合せはGメールをお願いいたします。研修会名「三部会合同研修会」を必ず入れてください。

※台風など災害等で研修会中止の場合はホームページにてお知らせいたします。